

香川県立アリーナの指定管理者

香川県立アリーナの指定管理者について、香川県立アリーナ指定管理者評価委員会の評価結果を踏まえ、総合的に判断した上で、候補者を選定し、令和5年6月香川県議会での指定の議決を経て、次のとおり指定しました。

1 申請団体数

2 団体

2 申請期間

令和5年1月10日から令和5年1月31日まで

3 指定管理者

香川アリーナコンソーシアム

構成員 代表 穴吹エンタープライズ株式会社（高松市古新町）
株式会社デューク（高松市錦町）
株式会社ハンズオン・エンタテインメント（東京都港区）
株式会社ファイブアローズ（高松市福岡町）

4 指定期間

令和7年3月1日から令和14年3月31日まで（7年1か月間）

5 評価委員会における評価結果

申請者から提出された書類の確認やプレゼンテーションを実施し、総合点数方式により評価した。

(1) 評価基準

評価基準及び観点		配点ウエイト
1	利用者の平等な利用が確保されていること	
	不当な利用制限項目の有無	(確保されない場合は、失格)
2	管理運営の基本方針	(合計 30点)
	(1) 県の設置目的や運営方針に即した管理運営の基本方針となっているか	10
	(2) 本県の地域活性化が期待できる取組方針となっているか	10
	(3) 利用者への平等、公平なサービスの提供が出来る方針となっているか	10

評価基準及び観点		配点ウエイト
3 施設の運営方針の効果的かつ効率的な達成		(合計 135 点)
(1) - 1	コンサートの誘致・開催に対する能力や効果的で具体的な取組が提案されているか	30
(1) - 2	コンサートの誘致・開催について十分な実績があり提案に実現性があるか	10
(2) - 1	MICE、プロスポーツ（ホームゲームでの利用を除く）、大規模なスポーツ大会等の誘致・開催に対する能力や効果的で具体的な取組が提案されているか	15
(2) - 2	MICE、プロスポーツ（ホームゲームでの利用を除く）、大規模なスポーツ大会等の誘致・開催について十分な実績があり提案に実現性があるか	5
(3)	開かれた公共空間を活用し、にぎわいづくりにつながる方策が提案されているか	10
(4)	利用者ニーズに配慮した休業日・利用時間となっているか	5
(5)	サービスの向上や利用者の増加につながる料金設定の考え方が提案されているか	10
(6)	施設の設定目的、特性を考慮した利用調整方法が提案されているか	10
(7)	施設やイベント等をPRするための効果的で具体的な広報宣伝が提案されているか	10
(8)	にぎわいの創出に繋がるカフェスペースの活用が提案されているか	10
(9)	自主事業（3 - (3) 及び 3 - (8) の提案項目を除く）は具体的で、施設の設定目的に即した魅力的な内容となっているか	10
(10)	利用者へのサービス向上のための方策が提案されているか	10
4 施設の管理経費の節減		(合計 30 点)
(1)	収支計画は事業計画との整合性が図られており、実現可能性があるか	10
(2)	原則として、申請者からの提案額アと最低提案額イにより評価する ＜計算式＞【申請者の点数】＝20×イ／ア	20
5 事業計画を安定して遂行する能力		(合計 50 点)
(1)	維持管理の水準は効率的で安定的に行われる内容となっているか	10
(2)	管理運営を行うための人員の確保、組織体制等が適切なものになっているか	10
(3)	個人情報保護、情報公開の取組が妥当なものであるかどうか	5
(4)	法令遵守（コンプライアンス）に対する取組は妥当か	5
(5)	利用者の安全対策が十分にとられているか	5
(6)	同種又は類似施設運営の実績を有するなど、施設を安定的に運営できるノウハウを有しているか	10
(7)	施設を安定的に運営できる財務状況になっているか	5

評価基準及び観点		配点ウエイト
6 その他		(合計 55 点)
(1) 県内の企業、団体の活用や発注、人材の活用は具体的で効果的な内容となっているか		20
(2) 開館準備として実施する内容や必要経費が妥当なものであるか		10
(3) 環境への配慮に関する考え方・取組が妥当なものであるか		5
(4) 近隣住民への配慮に関する考え方・取組が妥当なものであるか		5
(5) 不測の事態に備えた対応が十分なものであるか		5
(6) 利用者等からの苦情、要望への対応やトラブルへの対策が妥当なものであるか		5
(7) 交通渋滞対策として有効な方策であるか		5
計		300

(2) 評価委員会の開催経緯

- ・第1回評価委員会（令和5年2月6日（月）～17日（金））
上記期間中に、各委員に香川県立アリーナの概要説明、申請内容等の確認
- ・第2回評価委員会（令和5年3月16日（木））
プレゼンテーション、事業計画書の評価

(3) 評価結果

※点数は、評価委員の平均／300点満点

	香川アリーナコンソーシアム（A）	（B）
得点	227.8	188.8

下記のような評価を踏まえ、「香川アリーナコンソーシアム」を指定管理者候補者に選定した。

- ・事業計画書全体として、Aにおいて、より具体的な提案が書かれているものと評価された。
- ・香川県立アリーナが造られるサンポート地区のエリアマネジメントとして、Aにおいて、周辺施設や企業との連携がより期待できるものと評価された。
- ・コンサートやMICE、スポーツの誘致について、Aにおいて、提案内容がより実現できる可能性があるものと評価された。

(4) 評価委員会委員（順不同、敬称略）

	役職名	氏名
委員長	香川県教育委員会事務局新県立体育館整備推進総室長	近藤 誓吾
委員	PwCアドバイザー合同会社パートナー	片山 竜
委員	香川大学経済学部教授	持田 めぐみ
委員	公認会計士	武田 真由美
委員	社会保険労務士	青木 岳
委員	香川県教育委員会事務局新県立体育館整備推進課長	景政 孝輔

6 事業計画の概要

(1) 指定管理料

	事業計画
県からの指定管理料	(指定予定期間7年1か月間の合計) 消費税及び地方消費税込み 977,500 千円

(2) 利用者サービス向上策

- ・各競技団体とのネットワークを活かしたスポーツ大会や、戦略的な日本代表戦・プロスポーツ等の誘致を行う。
- ・エンタテインメントやMICEに係る誘致担当者を配置し、誘致力強化を図る。
- ・エリアマネジメント活動担当者を配置し、サンポートエリア・施設周辺を含めた賑わい創出による交流人口の拡大を図る。
- ・県民利用・部活動利用を促進するための各種利用料金割引制度を整備する。
- ・トレーニングルームを活用した県民向けの健康増進プログラムを提供する。
- ・交流スペースや公共空間を活用したマルシェ、地域プロスポーツ選手交流等の企画運営を行う。
- ・集い、憩いの場として広く利用されるためのカフェ運営と、カフェの眺望を活かしたミニライブ等を実施する。

(3) 経費節減策

- ・周辺で管理する既存建物との連携を図り、スケールメリットを活かした管理経費の節減を図る。
- ・DXツールを活用し、ムリ・ムラ・ムダを省き業務効率アップによる管理経費の節減を図る。

注) (1) ~ (3) の事業計画は、確定したものではなく、今後変更する可能性がある。